

平成 31 年度 第 1 回志摩市地域公共交通会議（全体会） 議事録

と き 平成 31 年 4 月 17 日（水）10：00～12：00

場 所 志摩市役所 4 階 401 会議室

【出席委員】

志摩市副市長	小山崎 幸夫
名古屋大学 教授	加藤 博和
三重交通株式会社 志摩営業所長	中垣内 敬二
三重県タクシー協会 伊勢志摩支部長	小崎 琢也
志摩市自治会連合会 会長	松井 源紀
志摩市自治会連合会 副会長	山本 善聖
志摩市自治会連合会 副会長	中西 英雄
志摩市老人クラブ連合会 会長	村瀬 有宏
志摩市 P T A 連合会 代表	山村 浩芳
志摩市商工会 会長	出口 勝美
志摩市観光協会 専務理事	西崎 巳喜
志摩市身体障害者福祉会	森 和夫
三重運輸支局 首席運輸企画専門官	鈴木 博行
三交伊勢志摩交通労働組合 書記長	西尾 祥貴
志摩建設事務所 道路課長	西本 裕一
三重県地域連携部 交通政策課長	天野 圭子
間崎自治会 会長	岩城 正幸
間崎婦人会 会長	山本 くに枝
三重運輸支局 鳥羽海事事務所次長	中根 彰彦
志摩マリンレジャー株式会社 取締役社長	喜多 勇司
三重県南部地域活性化局次長兼南部地域活性化推進課長	下田 二一（代理 大津 克巳）
志摩市建設部長	森本 浩
志摩市政策推進部長	澤村 博也

【欠席委員】

鳥羽警察署 交通課長	宮崎 利章
間崎老人会 会長	野村 儀次

1.開会

・委嘱状の交付

【副市長より各委員に委嘱状の交付を行った。】

・あいさつ

【年度初めの会議となったので、各委員あいさつを行った。】

・事務局より

【委員の半数以上が出席いただいていることから、設置要綱の開催要件を満たしていること、会議を公開とすることを報告。本会議の会長とする副市長へ進行を引き継いだ。】

2.議事

(1) 志摩市地域公共交通網形成計画について

会長

- ・昨年度より、本計画については様々なご意見をいただいておりますが、引き続きご意見をいただきたい。
- ・事務局から前回会議からの修正点の説明をお願いします。

事務局

【志摩市地域公共交通網形成計画（案）に基づき、基本的事項、変更点について説明】

会長

- ・記載されているタクシーの法人名を正式なものへ修正をお願いしたい。

A委員

- ・本計画は良くできているという印象を持った。
- ・本計画に対応する予算計画はありますか。

事務局

- ・本計画に対応する予算計画はありません。具体的な事業内容や予算に関しては、もう少しお時間をいただきたい。

A委員

- ・志島循環線・ハッスル号について、市から補助金をいただいているということに感謝を申し上げたい。

B委員

- ・現在の利用状況では、持続的でないと考えていてその改善として利用促進をしていく中

で、目玉として MaaS が出てきている。

- ・幹線の定義が出てきていない。幹線のバス路線は国、県の補助要件すれすれまで来ている。このことから、観光客がバスを待つことができる場所の設置等を盛り込む必要がある。
- ・1度お金を払えば、いくらでも電車・バス等に乗車でき、さらには各施設へも無料で入場できる。これが MaaS です。これをスマホに全て入れるとわかりやすい。
- ・MaaS 実施事業者が協議会を立ち上げて実施へ向かうならば理解できるが、市で協議会を立ち上げるとなっているので、どのような動きをするのかを確認したい。実施事業者が本会議の委員となっていないので、委員になっていただいた方が良いと思う。

事務局

- ・MaaS 実施事業者の本会議への参加については、打診を行い、MaaS がより効率的に観光客の利便性を高められるよう、努力していきたい。

B 委員

- ・鵜方から MaaS を始めてもインバウンドは鵜方ってどことなる。空港であるとか、東京駅からという視点が必要。
- ・MaaS の市民活用のための環境整備とあるが、これは高齢者がスマホの練習をするのかということになってしまう。スマホを使用するのは、スマホを使用できる世代の多くなる 10 年後、20 年後で良いのではないか。
- ・自転車のシェアについて記載があるが、1 日いくらという設定ではなく、10 分でいくらという設定のものを出てきている。市では自転車のシェアについて考えていることはありますか。

事務局

- ・将来的にと考えていますが、具体的なところまでは現在、至っておりません。

B 委員

- ・英虞湾定期船の和具で降船しても、歩いて移動するしかない。自転車のシェアがあれば便利に移動できるのではないか。MaaS 協議会ではこのようなことも協議していただきたい。

C 委員

- ・安乗線と志島循環線についての記載があるが、このスケジュールでは厳しい。意見を交わしながら進めてほしい。

会長

- ・事務局は事業者サイドの視点も取り入れながら進めてください。

D委員

- ・バス停等にシニアカーを置く場所ができれば、買い物、通院などの利用が増えると思う。
- ・自転車のシェアの話があったが、電動自転車の導入も検討していただきたい。

会長

- ・シニアカー置き場の設置等は行政が行うべき課題。事務局は検討してください。

B委員

- ・バス停に駐輪場の設置、自転車のシェア等を行えば、駅のような存在になる。

E委員

- ・観光事業としての航路については、本社も取り組んでいきたい。

B委員

- ・本計画で安乗線と志島循環線については、今後 5 年間で運行形態が変わっているという覚悟をしてくださいと言っている。

F委員

- ・再編実施計画のスケジュールについてはどう考えていますか。

事務局

- ・各事業でスケジュールを記載しているところが再編実施計画の策定となります。

F委員

- ・再編実施計画の国への申請手続きもありますので、余裕を持って進めていただきたい。

B委員

- ・再編実施計画については、平成 31 年度中は厳しい。
- ・法改正もあるので、2 年後の申請がちょうど良いかなと思う。

会長

- ・今後につきましては、パブリックコメント等で意見をいただき、中部運輸局への申請

いう流れを考えている。

- ・軽微な変更については事務局で修正し大きな変更については、委員の皆様へ送付することとしたいがよろしいか。(異議なし)

B委員

- ・パブリックコメント終了後、もう1度本会議を開催ということによろしいか。

G委員

- ・5月に開催する、議会全員協議会で市議会議員の皆様からも意見をいただく。
- ・本会議についてはもう1度開催させていただく。

B委員

- ・委員の皆様にはお願いですが、具体的な施策について、自分ができるかできないかを考え、をうち確認をしてほしい。

会長

- ・事務局はパブリックコメント等ありますので、しっかりと取り組んでください。

(2) その他

A委員

- ・バスサポーターについて、組織の整備等をお願いしたい。

会長

- ・本日はご意見をいただきありがとうございました。